

「輸血療法に係るアンケート調査 の報告」

平成29年2月18日 平成28年度長崎県輸血研修会
長崎県 福祉保健部 薬務行政室

これまでの経緯

血液製剤等適正使用に関するアンケートの実施 (平成19年度、平成23年度、平成26年度、平成27年度)

(背景)

日本輸血・細胞治療学会の調査(平成22年)

長崎県の総アルブミン製剤の使用量が**全国第2位**

平成26年3月10日

長崎県合同輸血療法委員会

パンフレット「アルブミン製剤の適正使用推進にご協力ください！」

長崎県福祉保健部薬務行政室

通知「アルブミン製剤の適正使用の推進について(協力依頼)」

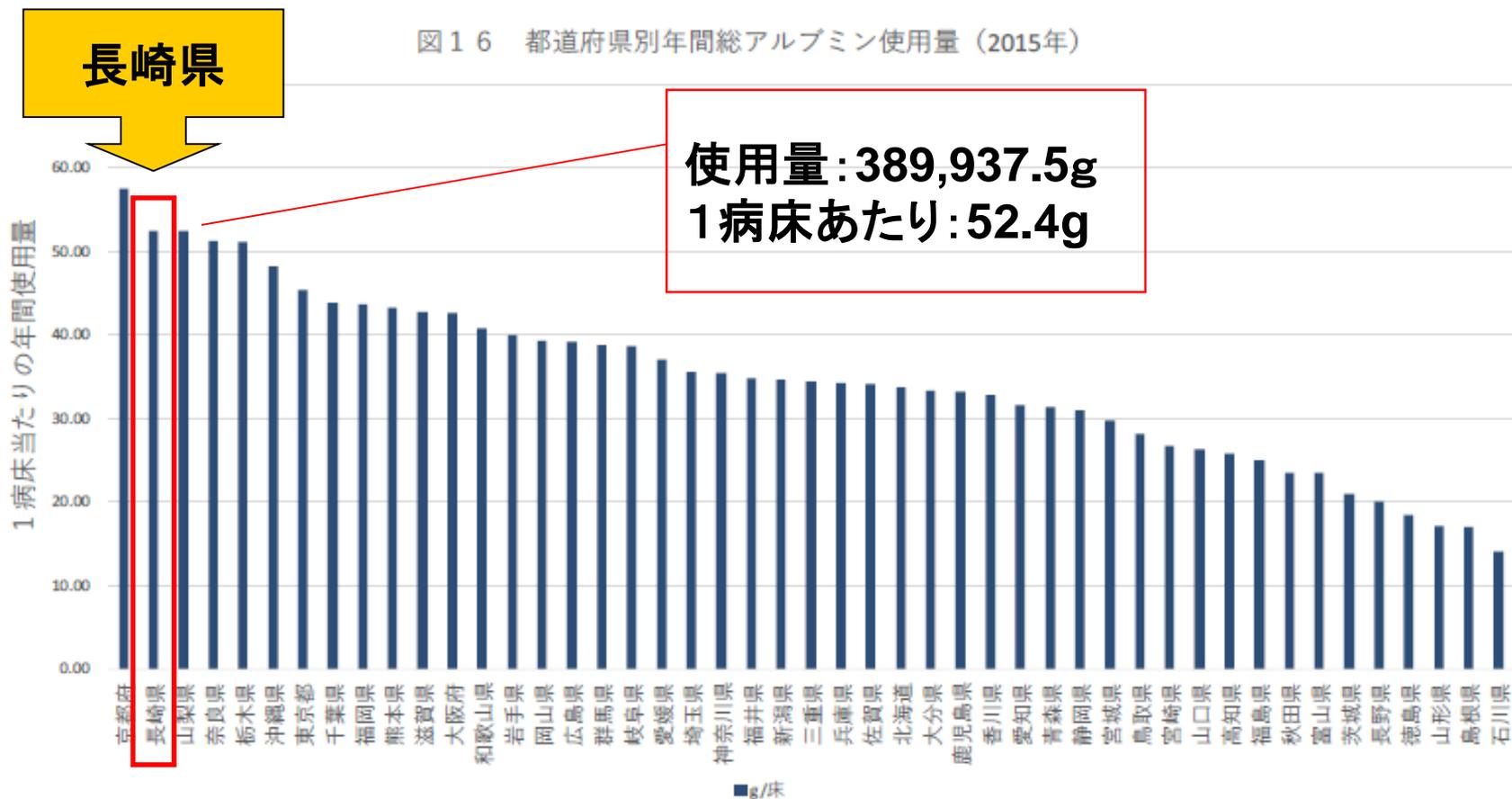
継続して医療機関の取り組み状況等を把握する必要がある。

都道府県別の使用実態①

総アルブミン製剤

平成 27 年度血液製剤使用実態調査(血液・血漿分画製剤使用状況と自己血輸血) 日本輸血・細胞治療学会 調査統計委員会(担当:菅野 仁)

図 1 6 都道府県別年間総アルブミン使用量 (2015年)

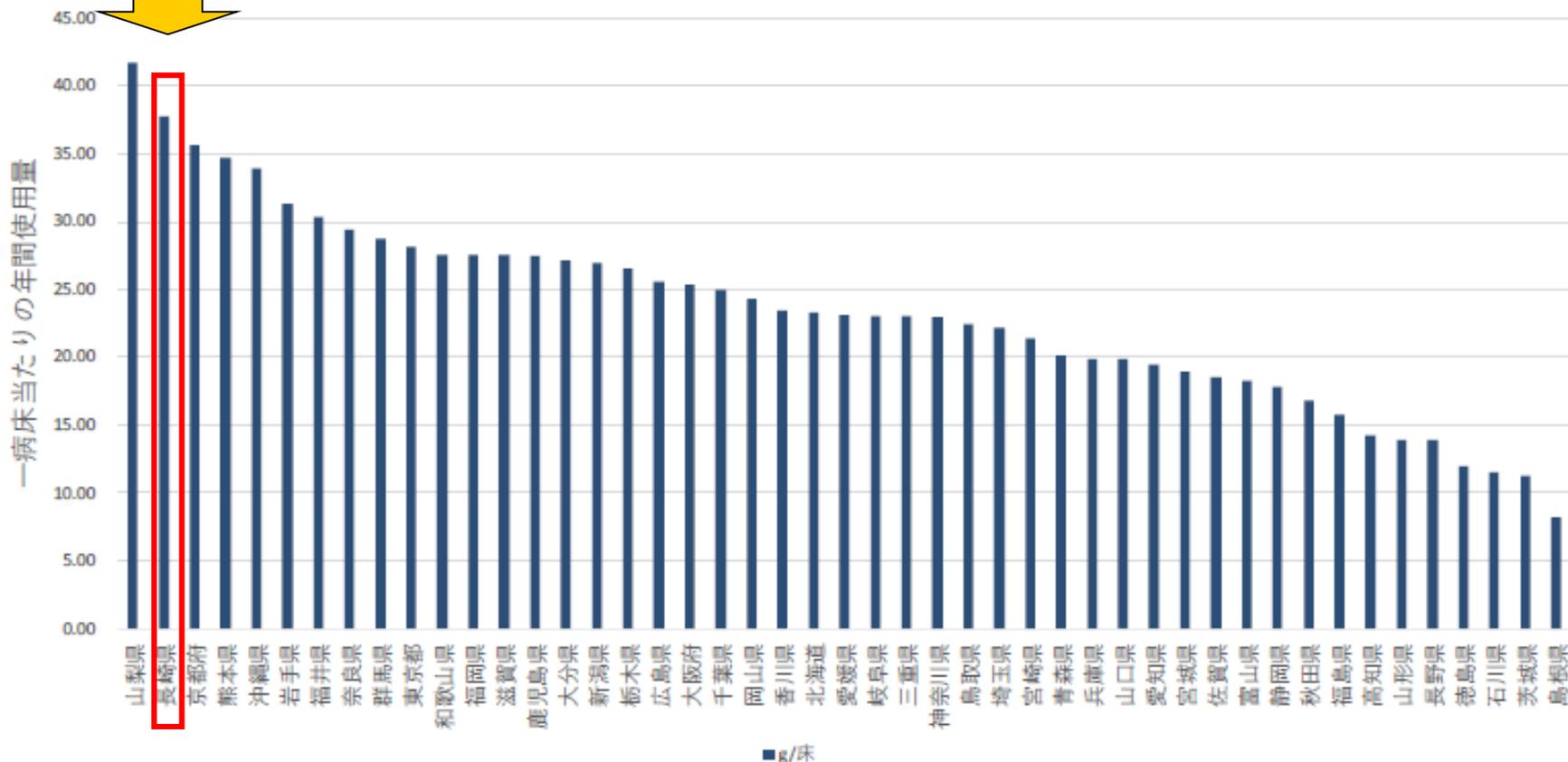


都道府県別の使用実態② 高張製剤

平成 27 年度血液製剤使用実態調査(血液・血漿分画製剤使用状況と自己血輸血) 日本輸血・細胞治療学会 調査統計委員会(担当:菅野 仁)

長崎県

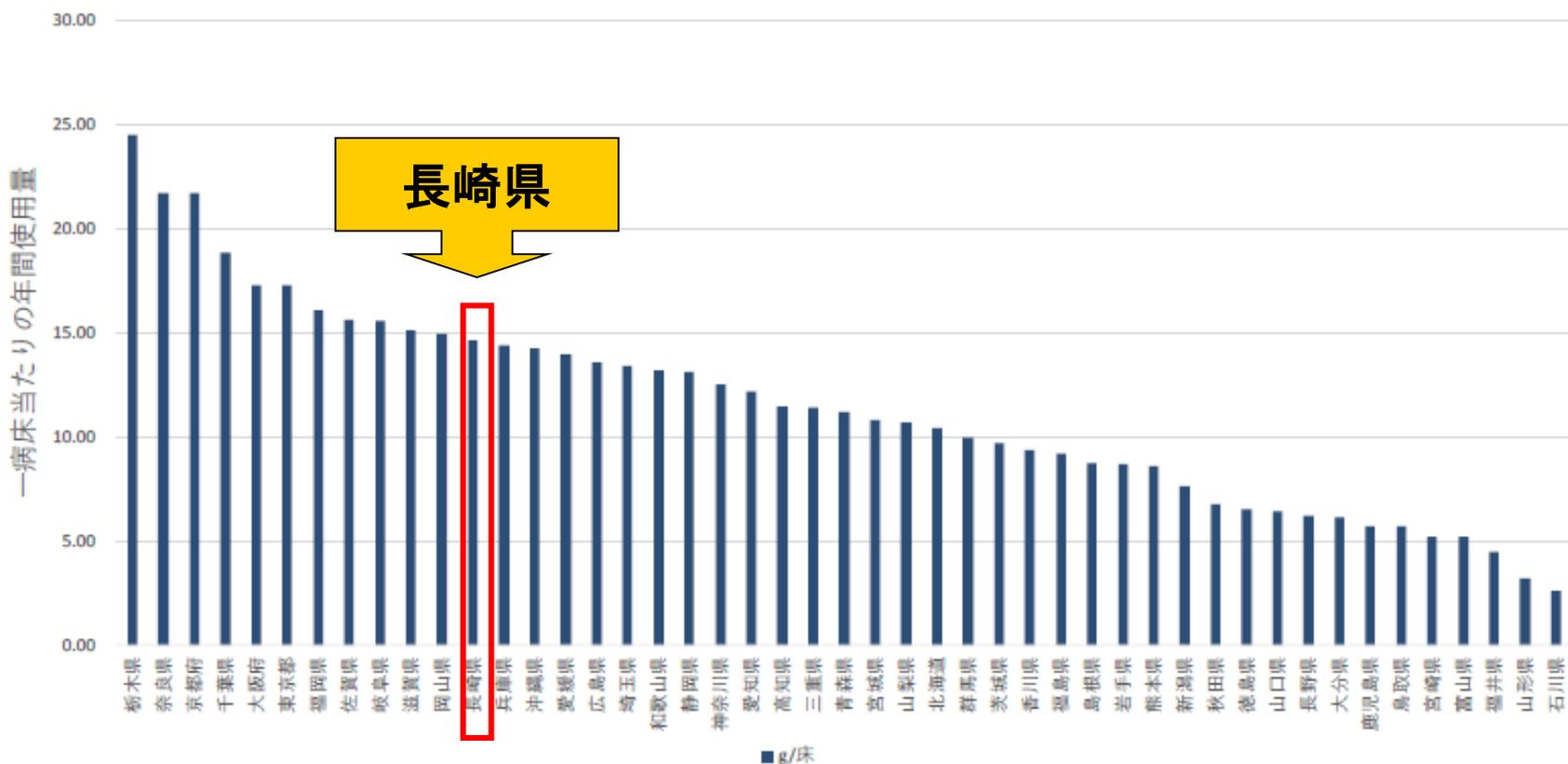
図 1 7 都道府県別年間高張アルブミン製剤使用量 (2015年)



都道府県別の使用実態③ 等張製剤

平成 27 年度血液製剤使用実態調査(血液・血漿分画製剤使用状況と自己血輸血) 日本輸血・細胞治療学会 調査統計委員会(担当:菅野 仁)

図 1 8 都道府県別年間等張アルブミン製剤使用量 (2015年)



平成28年度アンケート調査の概要

目的：本県におけるアルブミン製剤の使用量が全国的に非常に多いことから、

平成26年3月に適正使用の協力依頼を通知した。
その後の医療機関の取り組み状況等データを蓄積し、使用量等の評価・分析をしていくため平成27年におけるアルブミン製剤の使用量等について、アンケート調査を実施した。

調査期間：平成28年10月14日～11月11日

調査対象とする期間：平成27年中の使用実績等

対象医療機関数：県内148施設（病院133、診療所15）

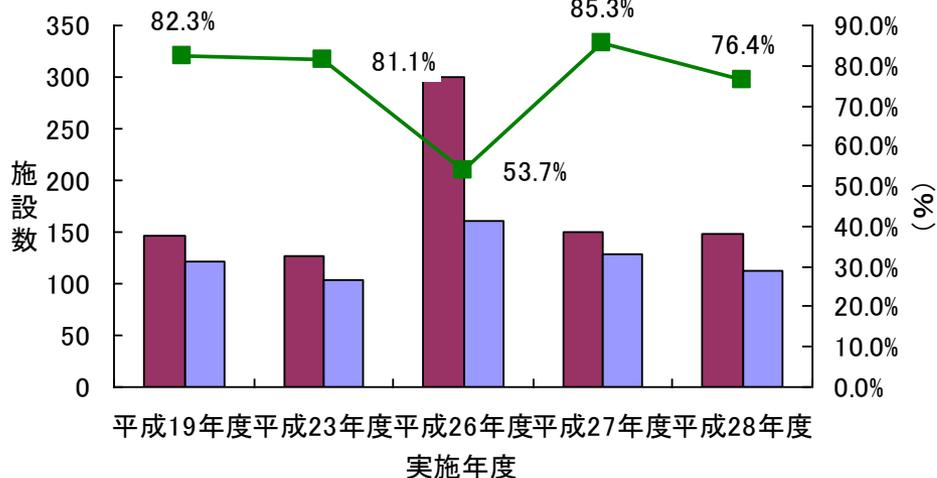
※平成27年度にアンケートを実施した医療機関
ただし、施設区分の変更や閉院等により施設数に変動あり。

回答医療機関数：113施設

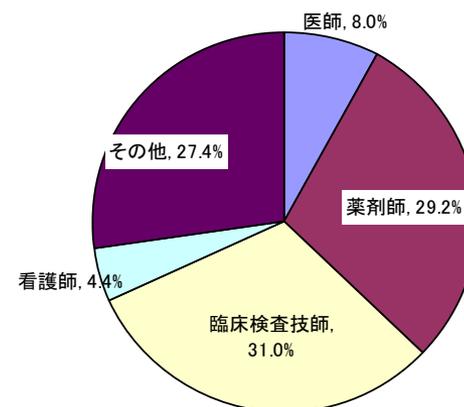
アンケート調査の回答数等

		平成19年度	平成23年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
対象施設数		147	127	300	150	148
有効回答数		121	103	161	128	113
回答率		82.3%	81.1%	53.7%	85.3%	76.4%
回答者	医師	12人(9.9%)	11人(9.7%)	—	—	9人(8.0%)
	薬剤師	39人(32.3%)	25人(24.3%)	—	—	33人(29.2%)
	臨床検査技師	47人(38.8%)	53人(51.5%)	—	—	35人(31.0%)
	看護師	8人(6.6%)	7人(6.8%)	—	—	5人(4.4%)
	その他	15人(12.4%)	7人(6.8%)	—	—	31人(27.4%)

アンケート実施状況



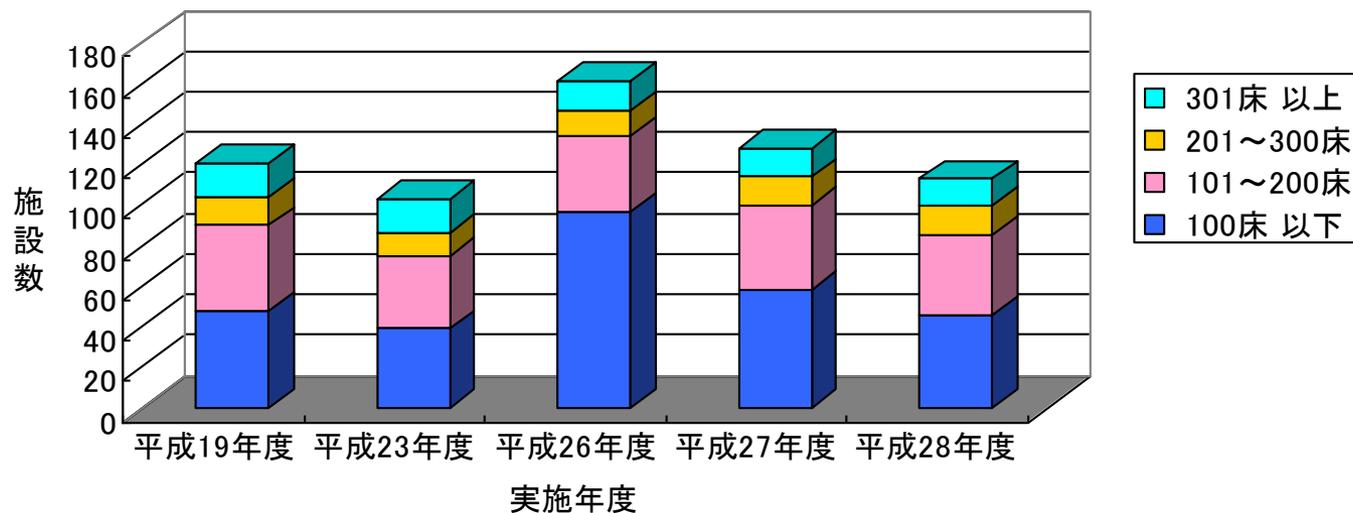
平成28年度アンケート回答者



回答があった医療機関の規模別分布

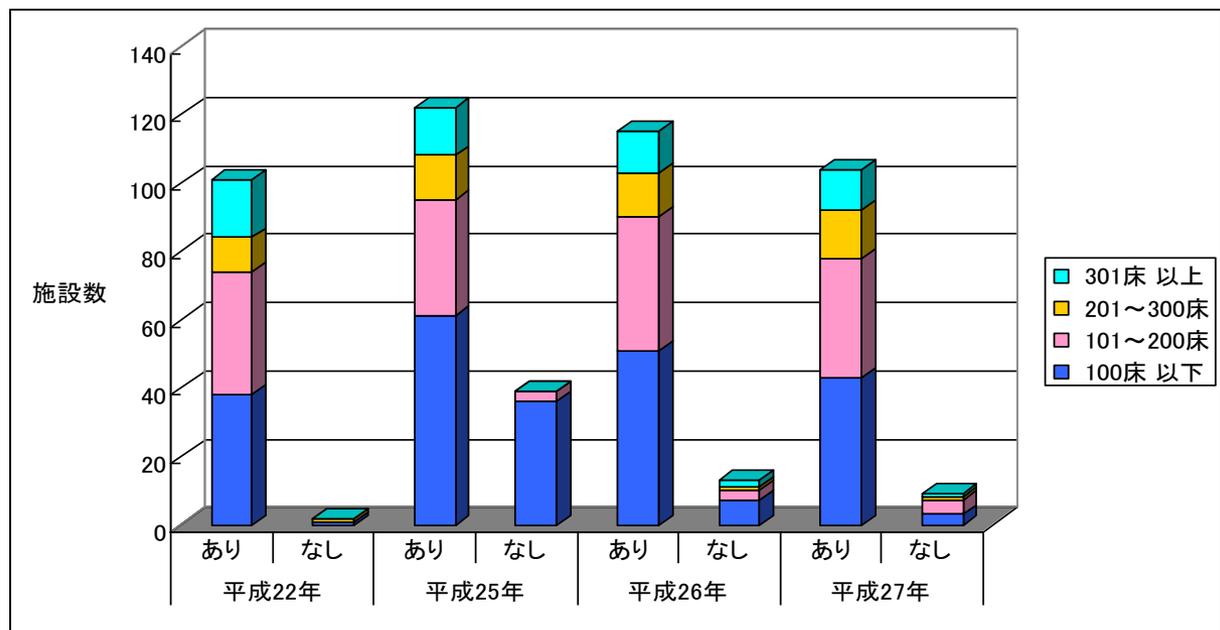
	平成19年度	平成23年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
100床 以下	48	39	97	58	46
101～200床	42	36	37	42	39
201～300床	14	11	13	14	15
301床 以上	17	17	14	14	13
合 計	121	103	161	128	113

病床数



血液製剤の使用施設の割合

病床数	平成22年		平成25年		平成26年		平成27年	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
100床以下	38	1	61	36	51	7	43	3
101～200床	36	0	34	3	39	3	35	4
201～300床	10	1	13	0	13	1	14	1
301床以上	17	0	14	0	12	2	12	1
合計	101	2	122	39	115	13	104	9



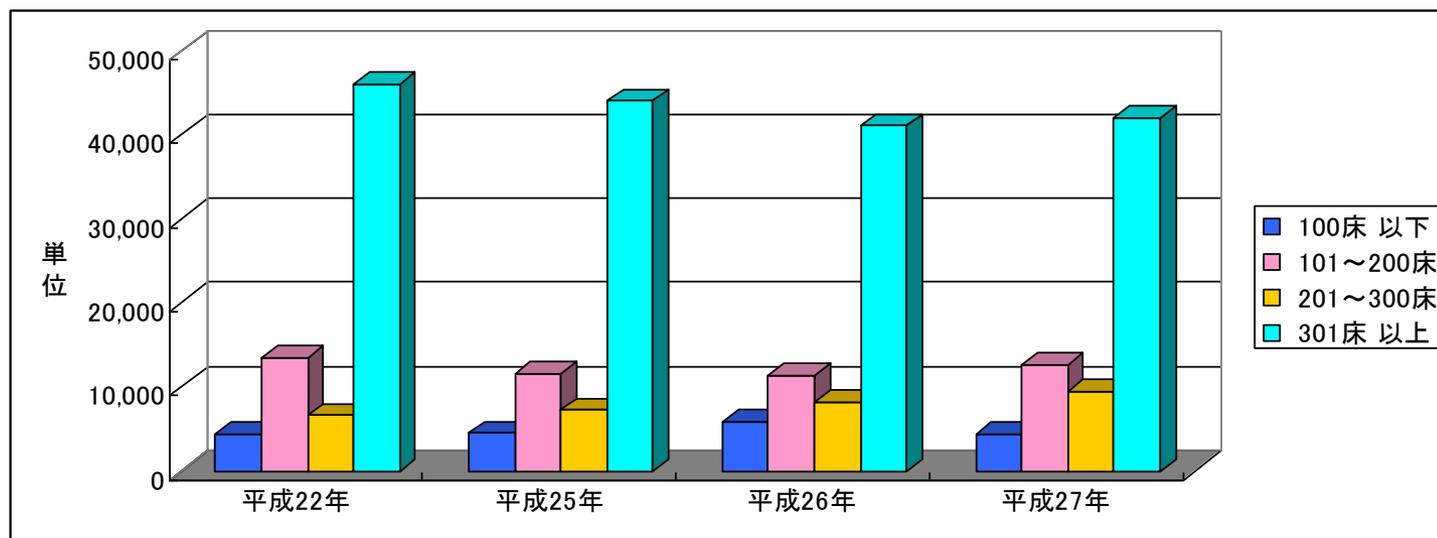
赤血球製剤使用量(病床規模別)

病床数	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年
100床以下	4,346	4,457	5,892	4,358
101~200床	13,502	11,529	11,311	12,632
201~300床	6,601	7,238	8,124	9,444
301床以上	46,054	44,065	41,106	42,063
合計	70,503	67,289	66,433	68,497

【平成27年度供給実績】 (血液センター)

78,162 単位

(アンケート回収率: 87.6%)



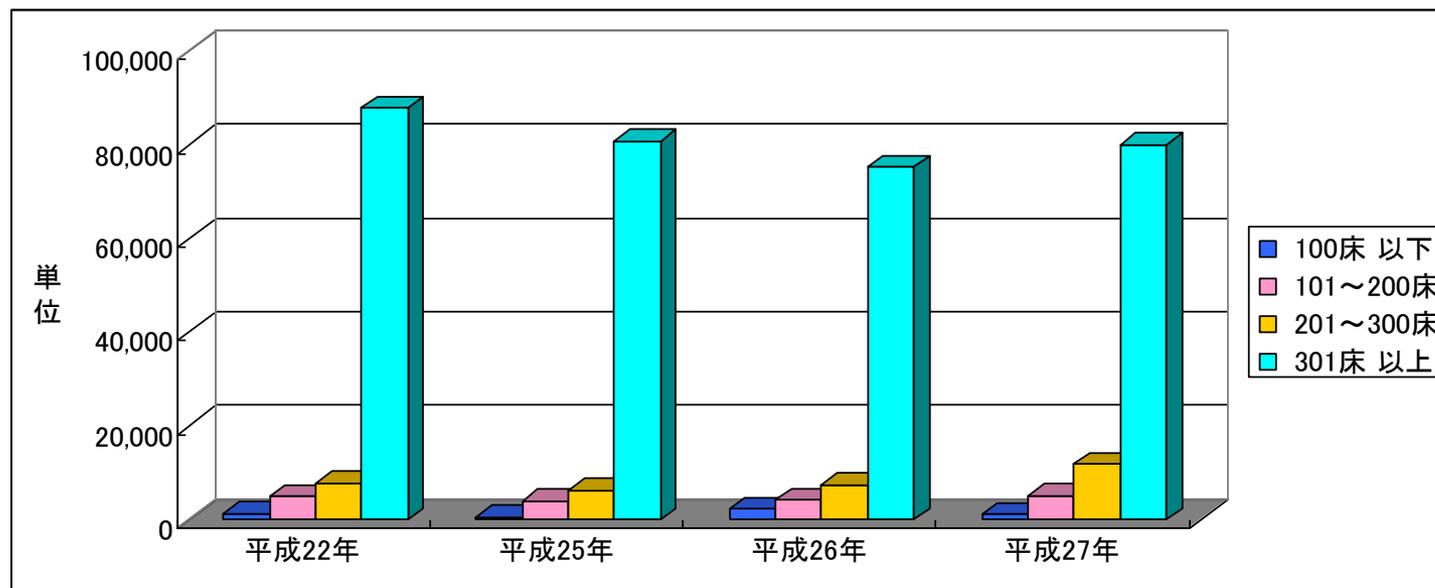
血小板製剤使用量(病床規模別)

病床数	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年
100床以下	1,170	488	2,227	1,090
101～200床	4,837	3,865	4,136	5,173
201～300床	7,730	6,165	7,420	11,780
301床以上	87,915	80,770	75,280	79,935
合計	101,652	91,288	89,063	97,978

【平成27年度供給実績】 (血液センター)

101,847 単位

(アンケート回収率: 87.4%)



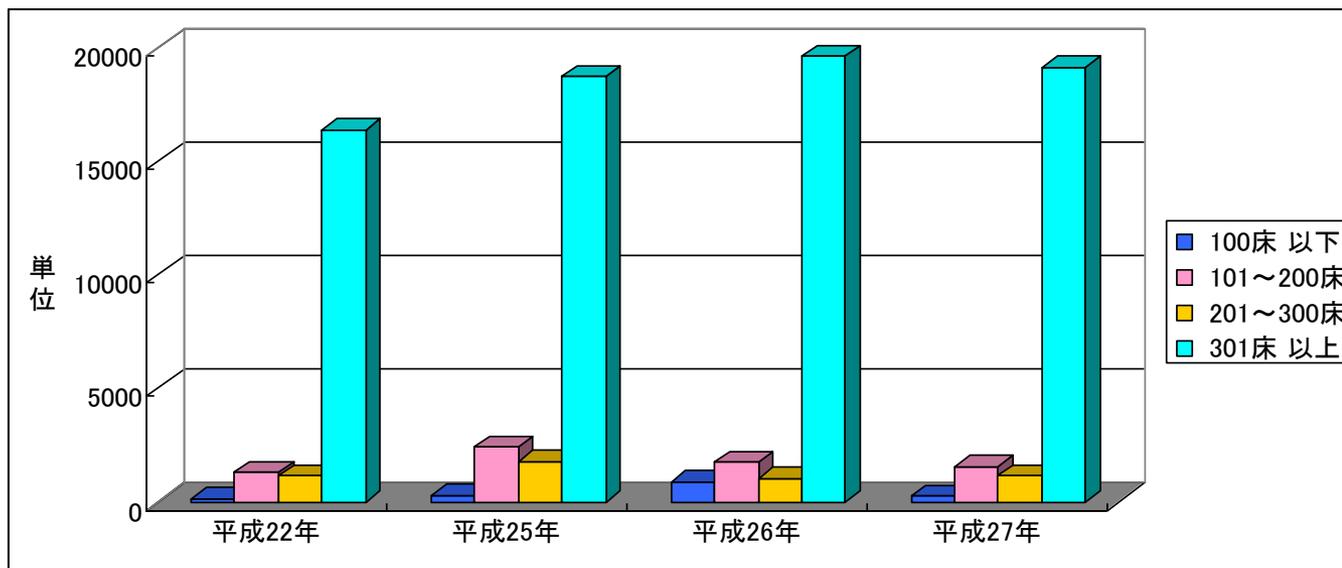
血漿製剤使用量(病床規模別)

病床数	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年
100床以下	119	285	890	234
101～200床	1,272	2,397	1,725	1,561
201～300床	1,128	1,762	1,022	1,142
301床以上	16,382	18,708	19,608	19,121
合計	18,900	23,152	23,245	22,058

【平成27年度供給実績】 (血液センター)

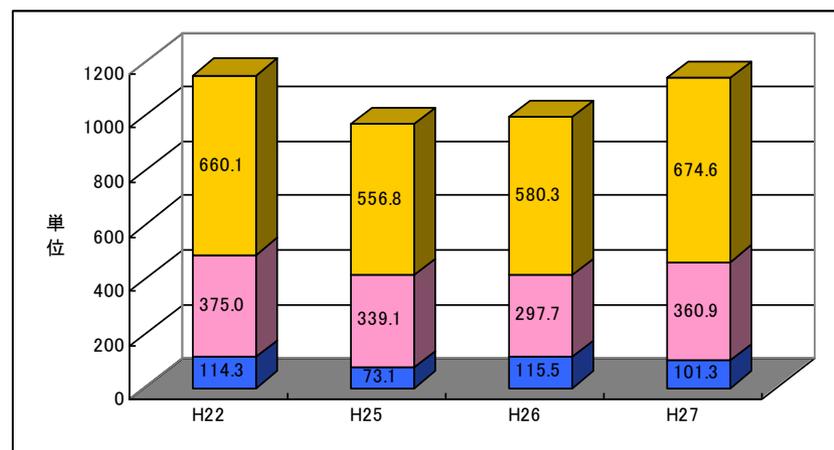
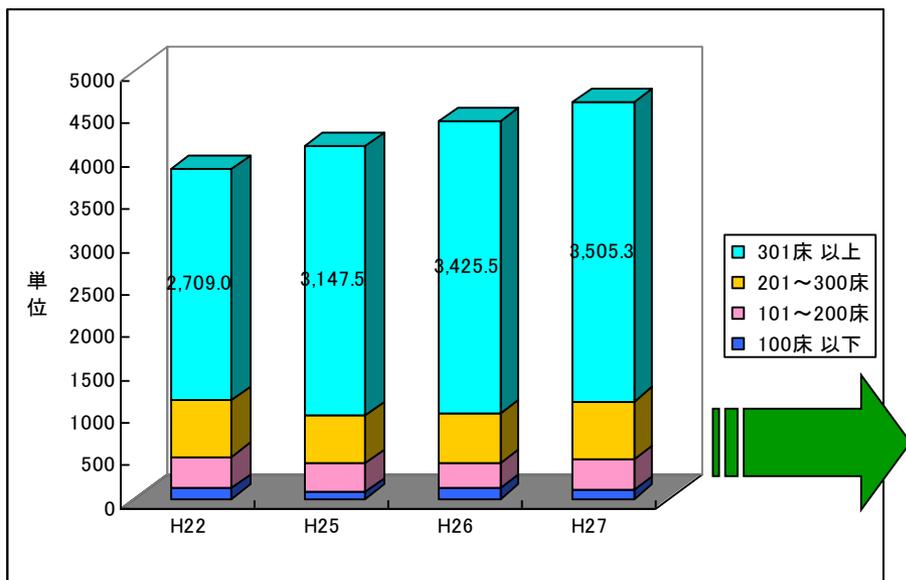
30,483 単位

(アンケート回収率： 76.3%)



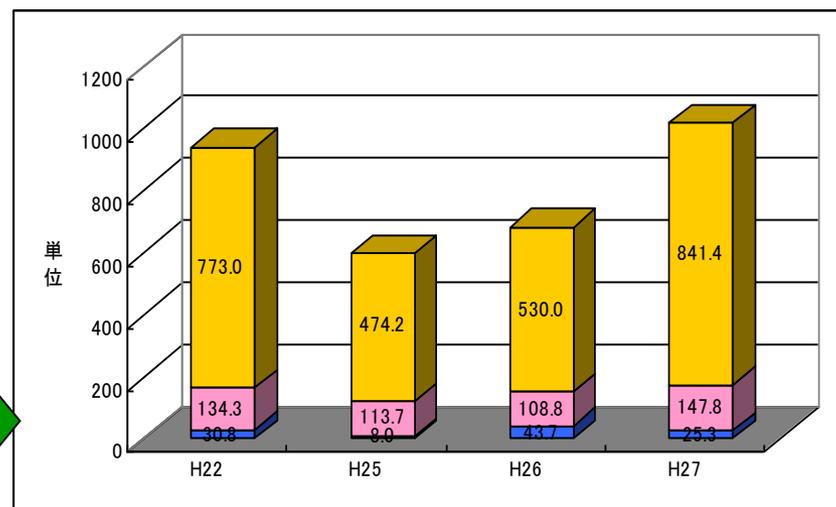
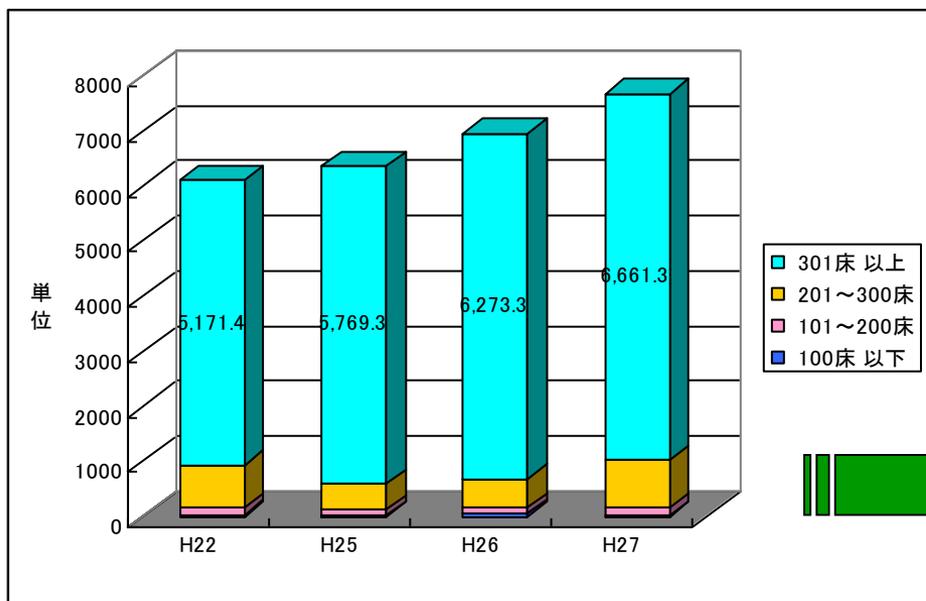
1施設あたりの使用量(赤血球製剤)

病床数	H22	H25	H26	H27
100床以下	114.3	73.1	115.5	101.3
101~200床	375.0	339.1	297.7	360.9
201~300床	660.1	556.8	580.3	674.6
301床以上	2,709.0	3,147.5	3,425.5	3,505.3
平均値	698.0	551.5	577.7	658.6



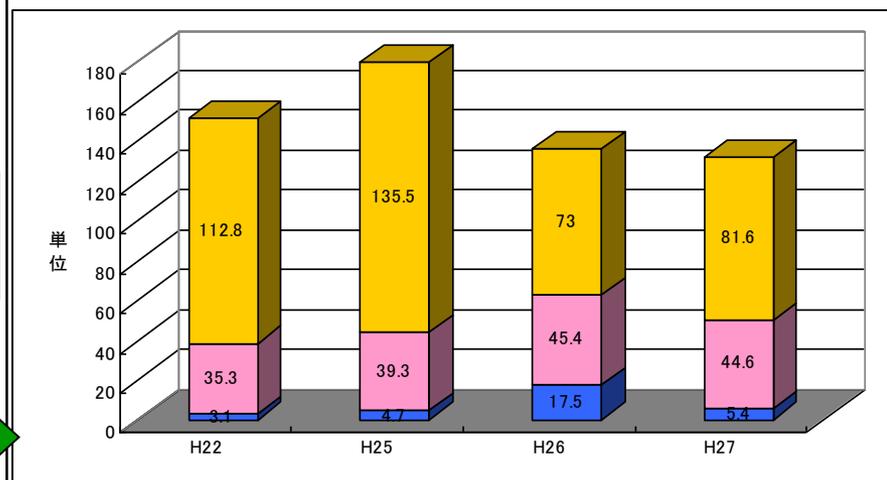
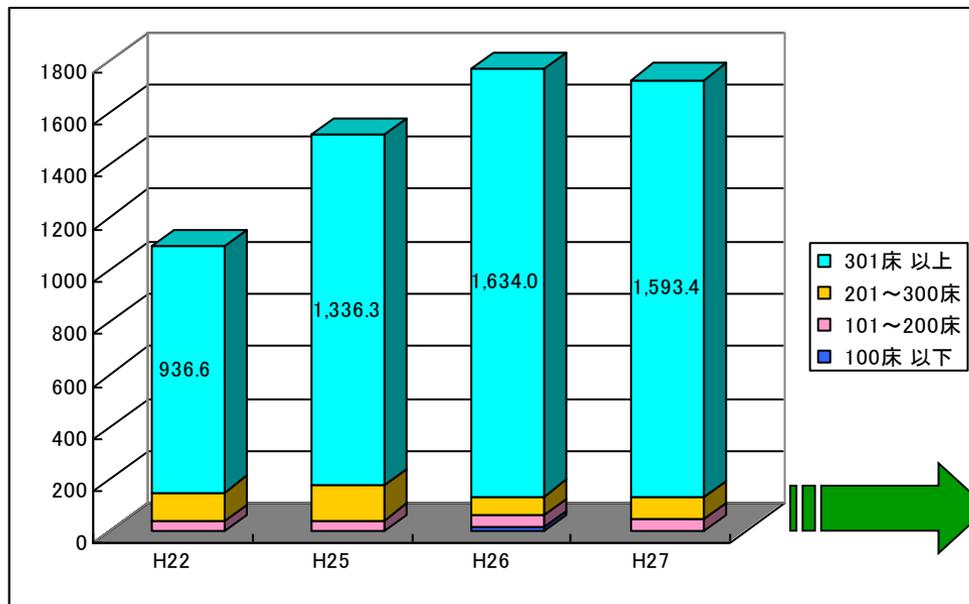
1施設あたりの使用量(血小板製剤)

病床数	H22	H25	H26	H27
100床以下	30.8	8.0	43.7	25.3
101~200床	134.3	113.7	108.8	147.8
201~300床	773.0	474.2	530.0	841.4
301床以上	5,171.4	5,769.3	6,273.3	6,661.3
平均値	1,006.4	748.3	774.5	942.1



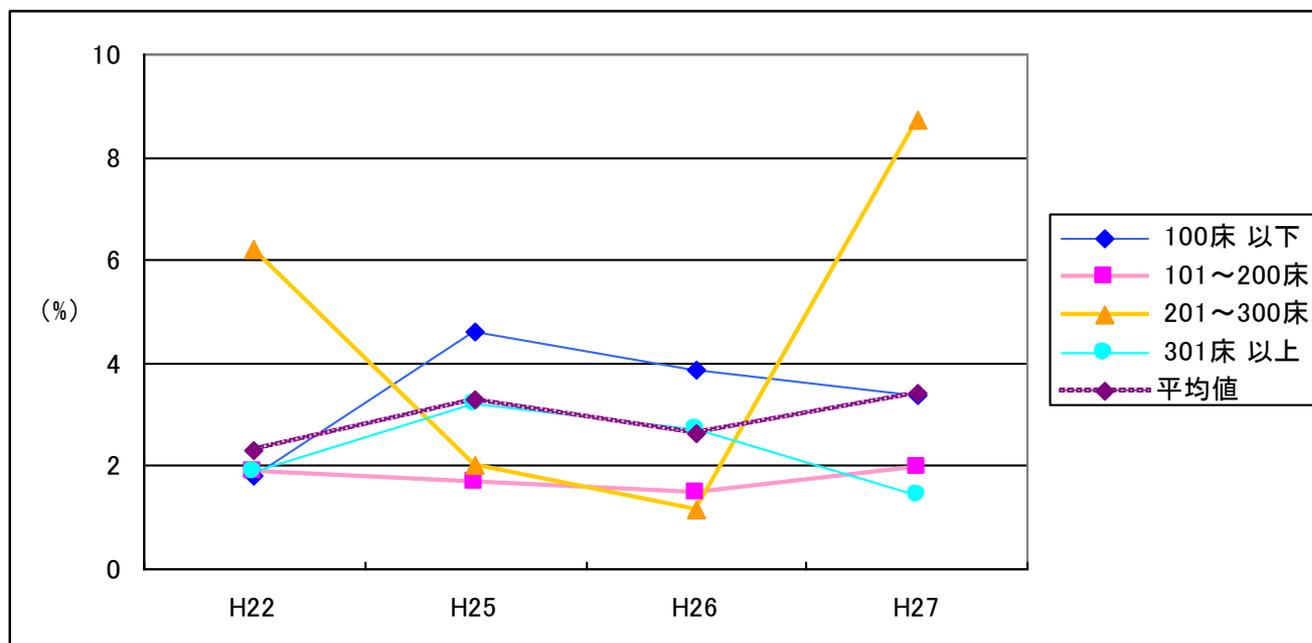
1施設あたりの使用量(血漿製剤)

病床数	H22	H25	H26	H27
100床以下	3.1	4.7	17.5	5.4
101~200床	35.3	39.3	45.4	44.6
201~300床	112.8	135.5	73	81.6
301床以上	936.6	1,336.3	1,634.0	1,593.4
平均値	187.1	189.8	202.1	212.1



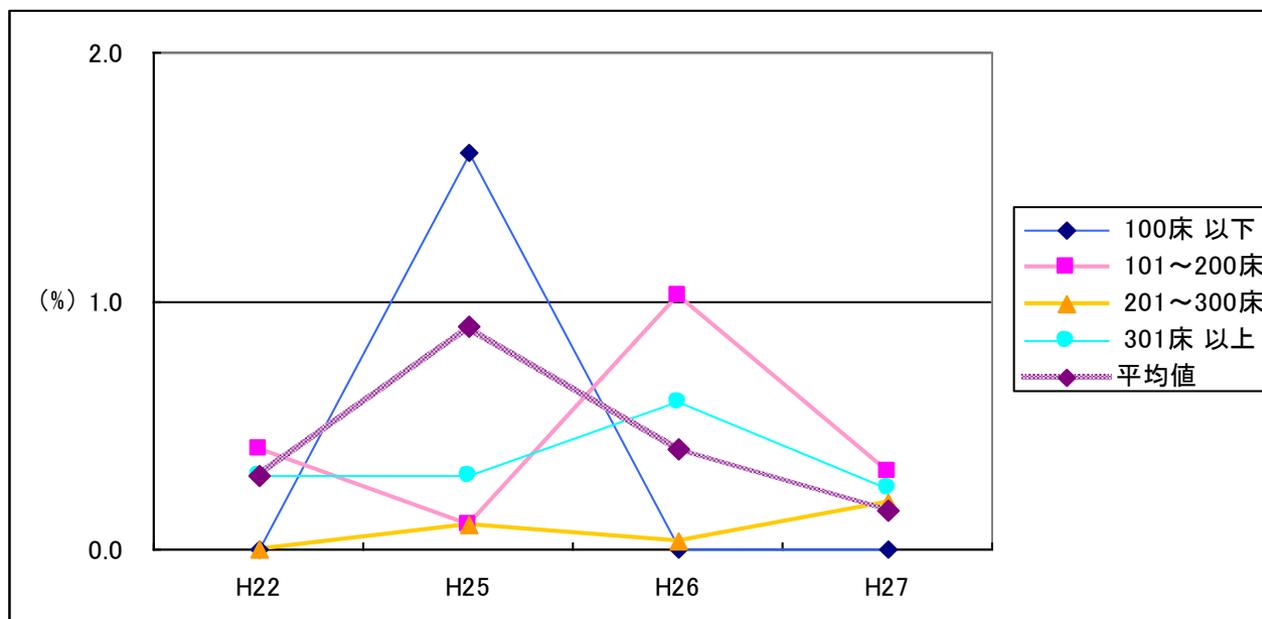
赤血球製剤廃棄率(%)

病床数	H22	H25	H26	H27
100床以下	1.8	4.6	3.85	3.39
101~200床	1.9	1.7	1.50	1.99
201~300床	6.2	2.0	1.17	8.72
301床以上	1.9	3.2	2.72	1.42
平均值	2.3	3.3	2.63	3.41



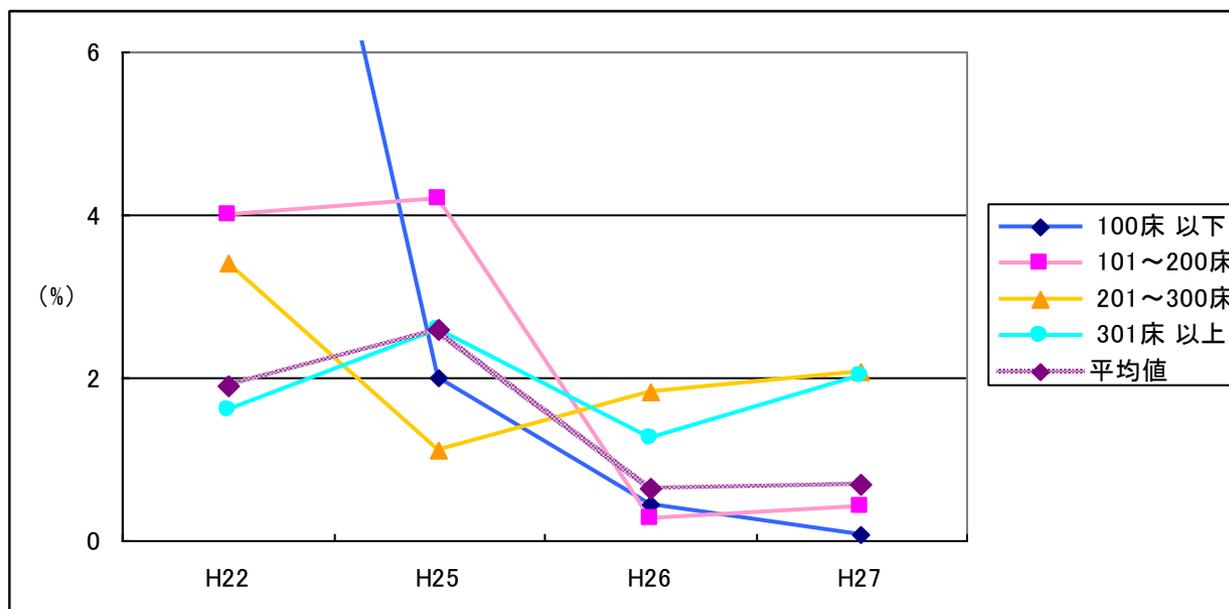
血小板製剤廃棄率(%)

病床数	H22	H25	H26	H27
100床以下	0.0	1.6	0.00	0.00
101~200床	0.4	0.1	1.02	0.31
201~300床	0.0	0.1	0.03	0.19
301床以上	0.3	0.3	0.59	0.25
平均值	0.3	0.9	0.40	0.16



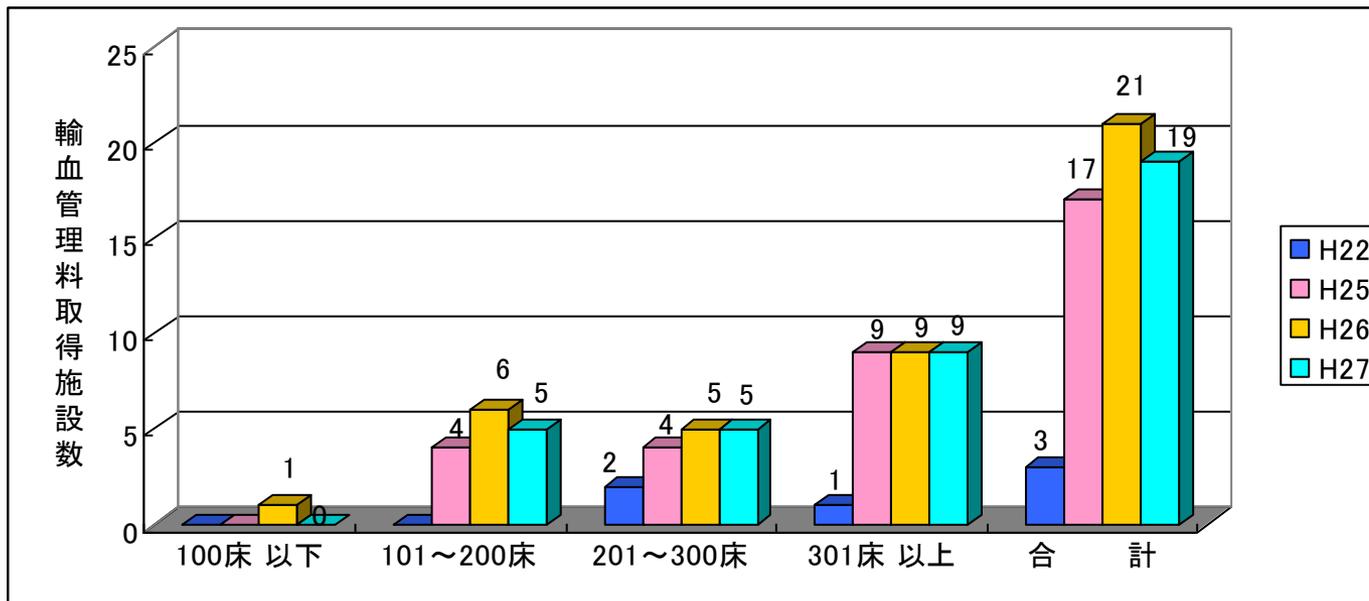
血漿製劑廢棄率(%)

病床数	H22	H25	H26	H27
100床以下	13.4	2.0	0.44	0.08
101~200床	4.0	4.2	0.26	0.42
201~300床	3.4	1.1	1.83	2.08
301床以上	1.6	2.6	1.25	2.03
平均值	1.9	2.6	0.64	0.69



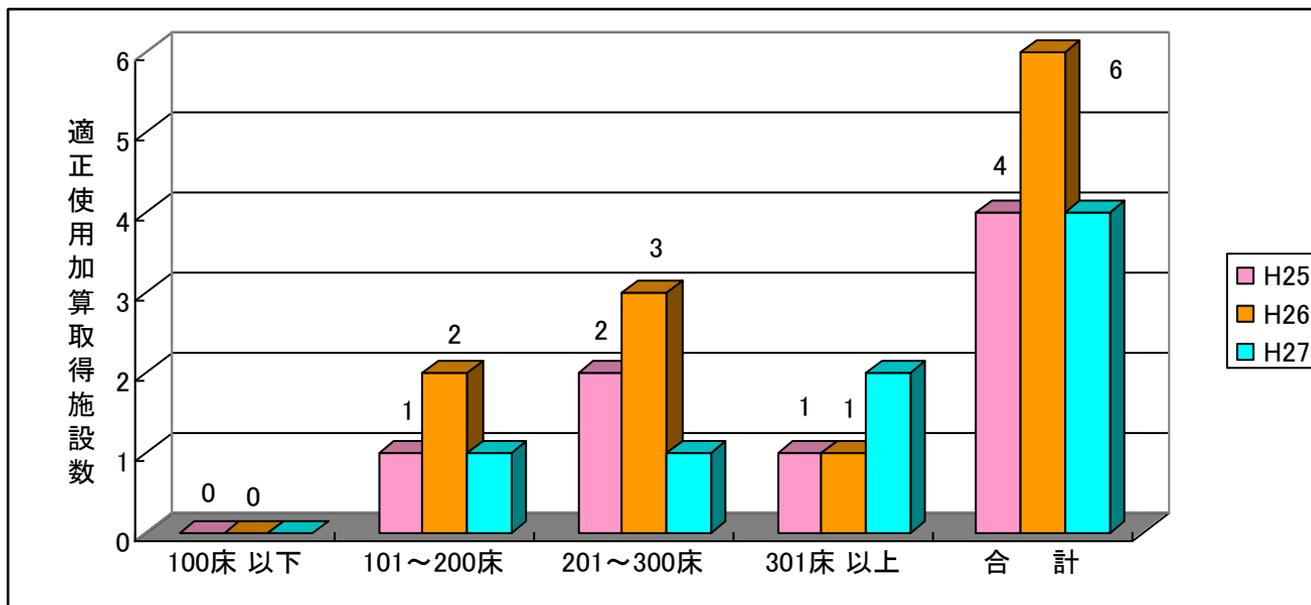
輸血管管理料の取得状況

病床数	平成22年					平成25年					平成26年					平成27年				
	施設数	管理料		未取得	回答なし	施設数	管理料		未取得	回答なし	施設数	管理料		未取得	回答なし	施設数	管理料		未取得	回答なし
		I	II				I	II				I	II				I	II		
100床以下	38	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%	1 2.6%	61	0 0.0%	0 0.0%	59 96.7%	2 3.3%	51	0 0.0%	1 2.0%	45 88.2%	5 9.8%	43	0 0.0%	0 0.0%	41 95.3%	2 4.7%
101~200床	36	0 0.00%	0 0.00%	36 100.00%	0 0.0%	34	0 0.0%	4 11.8%	30 88.2%	0 0.0%	39	0 0.0%	6 15.4%	31 79.5%	2 5.1%	35	1 2.9%	4 11.4%	30 85.7%	0 0.0%
201~300床	10	1 10.0%	1 10.0%	8 80.0%	0 0.0%	13	0 0.0%	4 30.8%	9 69.2%	0 0.0%	13	0 0.0%	5 38.5%	6 46.2%	2 15.4%	14	0 0.0%	5 35.7%	9 64.3%	0 0.0%
301床以上	17	0 0.0%	1 5.9%	16 94.1%	0 0.0%	14	1 7.1%	8 57.1%	4 28.6%	1 7.1%	12	1 8.3%	8 66.7%	3 25.0%	0 0.0%	12	1 8.3%	8 66.7%	3 25.0%	0 0.0%
合計	101	1 1.0%	2 2.0%	97 97.0%	1 1.0%	122	1 0.8%	16 13.1%	102 83.6%	3 2.5%	115	1 0.9%	20 17.4%	85 73.9%	9 7.8%	104	2 1.9%	17 16.3%	83 79.8%	2 1.9%



適正管理加算の取得状況

病床数	平成25年				平成26年				平成27年			
	施設数	取得あり	取得なし	回答なし	施設数	取得あり	取得なし	回答なし	施設数	取得あり	取得なし	回答なし
100床以下	61	0 0.0%	59 96.7%	2 3.3%	51	0 0.0%	45 88.2%	6 11.8%	43	0 0.0%	40 93.0%	3 7.0%
101～200床	34	1 2.9%	33 97.1%	0 0.0%	39	2 5.1%	33 84.6%	3 7.7%	35	1 2.9%	34 97.1%	0 0.0%
201～300床	13	2 15.4%	11 84.6%	0 0.0%	13	3 23.1%	9 69.2%	2 15.4%	14	1 7.1%	11 78.6%	0 0.0%
301床以上	14	1 7.1%	12 85.7%	1 7.1%	12	1 8.3%	11 91.7%	0 0.0%	12	2 16.7%	9 75.0%	1 8.3%
合計	122	4 3.3%	115 94.3%	3 2.5%	115	6 5.2%	98 85.2%	11 9.6%	104	4 3.8%	94 90.4%	4 3.8%



アルブミン製剤の使用量

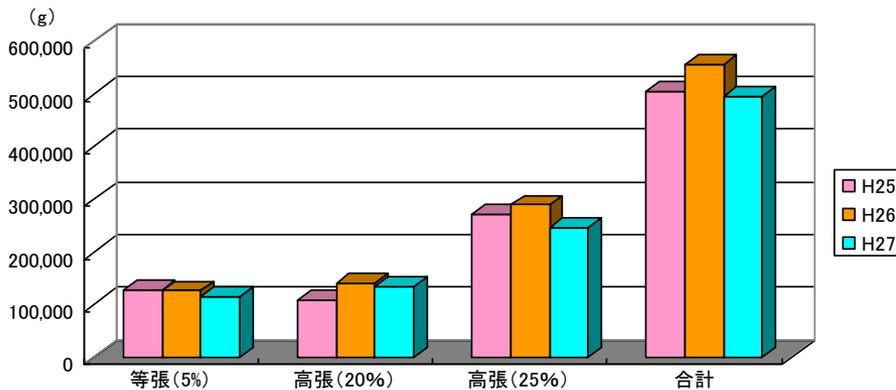
県内医療機関アルブミン使用量合計(g)

	H25	H26	H27	前年比(%)
等張(5%)	127,275	125,925	115,125	91.4%
高張(20%)	107,094	140,312	133,406	95.1%
高張(25%)	270,463	288,963	246,700	85.4%
合計	504,832	555,200	495,231	89.2%

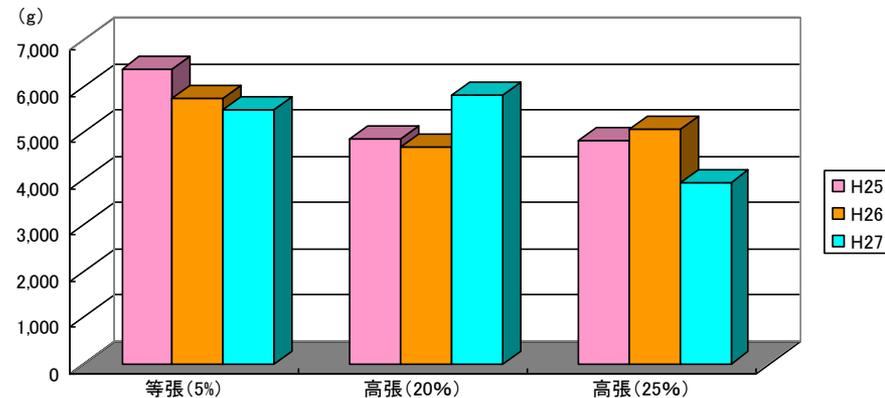
県内医療機関1施設あたりの使用量(g)

	H25	H26	H27	前年比(%)
等張(5%)	6,364	5,724	5,482	95.8%
高張(20%)	4,868	4,677	5,800	124.0%
高張(25%)	4,830	5,070	3,916	77.2%

県内医療機関アルブミン使用量合計(g)



県内医療機関1施設あたりの使用量



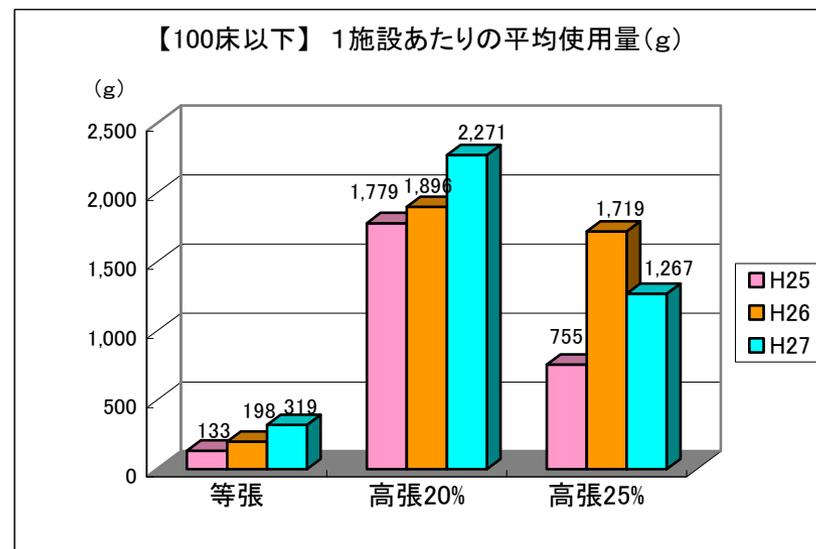
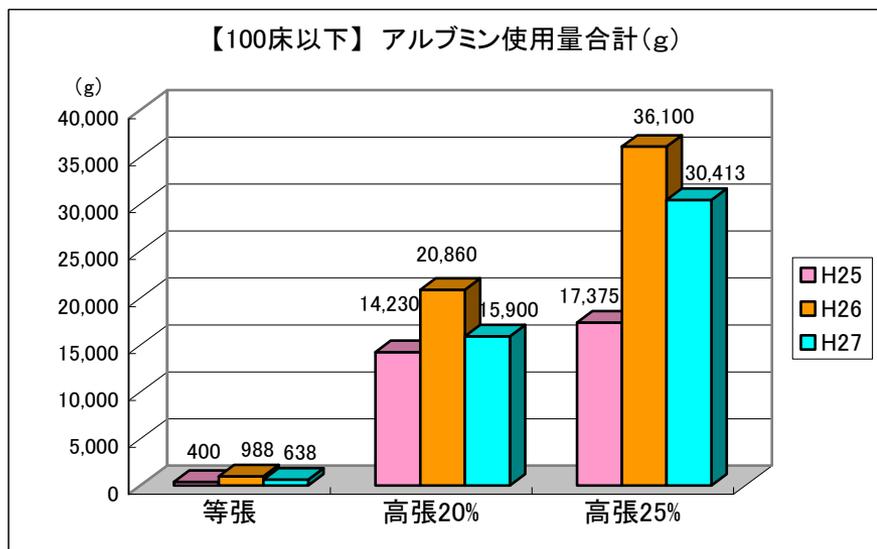
病床規模別の使用量(100床以下)

【各製剤別アルブミン使用量合計(g)】

	H25	H26	H27
等張	400	988	638
高張20%	14,230	20,860	15,900
高張25%	17,375	36,100	30,413

【各製剤別1施設あたりの平均使用量(g)】

	H25	H26	H27
等張	133	198	319
高張20%	1,779	1,896	2,271
高張25%	755	1,719	1,267



病床規模別の使用量(101-200床)

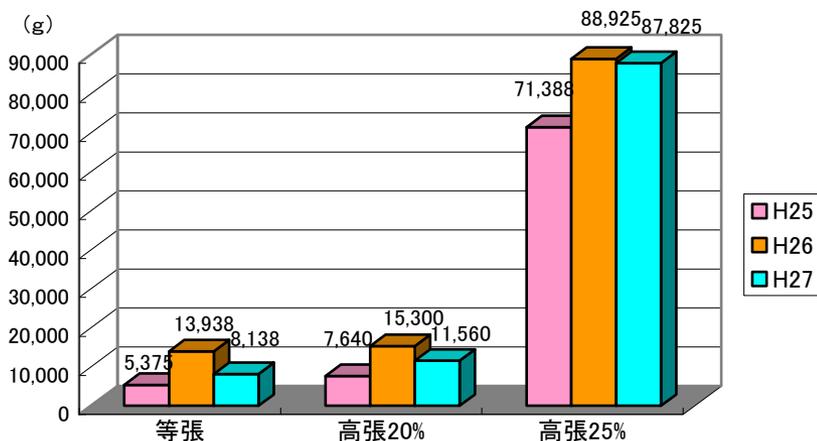
【各製剤別アルブミン使用量合計(g)】

	H25	H26	H27
等張	5,375	13,938	8,138
高張20%	7,640	15,300	11,560
高張25%	71,388	88,925	87,825

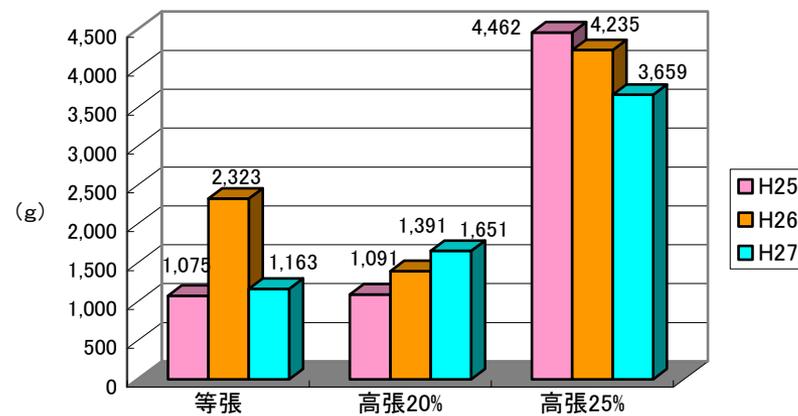
【各製剤別1施設あたりの平均使用量(g)】

	H25	H26	H27
等張	1,075	2,323	1,163
高張20%	1,091	1,391	1,651
高張25%	4,462	4,235	3,659

【101-200床】アルブミン使用量合計(g)



【101-200床】1施設あたりの平均使用量(g)



病床規模別の使用量(201-300床)

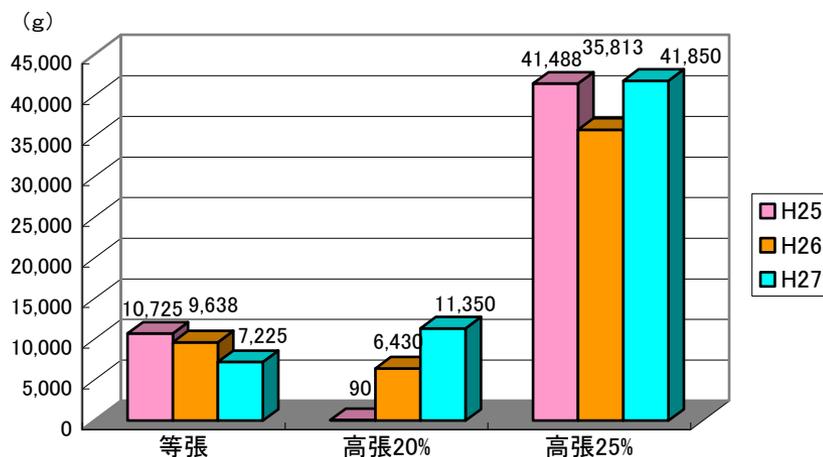
【各製剤別アルブミン使用量合計(g)】

	H25	H26	H27
等張	10,725	9,638	7,225
高張20%	90	6,430	11,350
高張25%	41,488	35,813	41,850

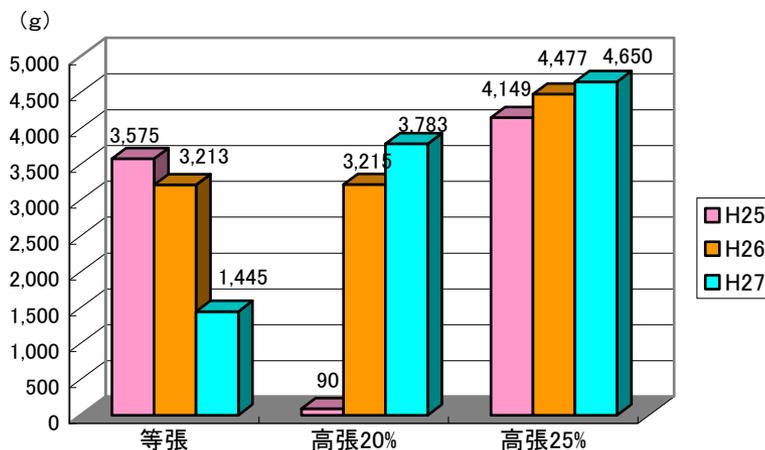
【各製剤別1施設あたりの平均使用量(g)】

	H25	H26	H27
等張	3,575	3,213	1,445
高張20%	90	3,215	3,783
高張25%	4,149	4,477	4,650

【201-300床】アルブミン使用量合計(g)



【201-300床】1施設あたりの平均使用量(g)



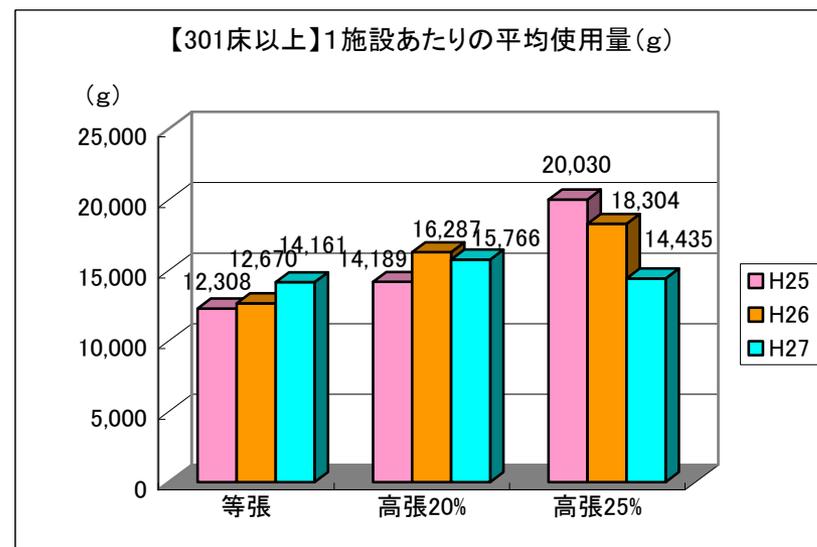
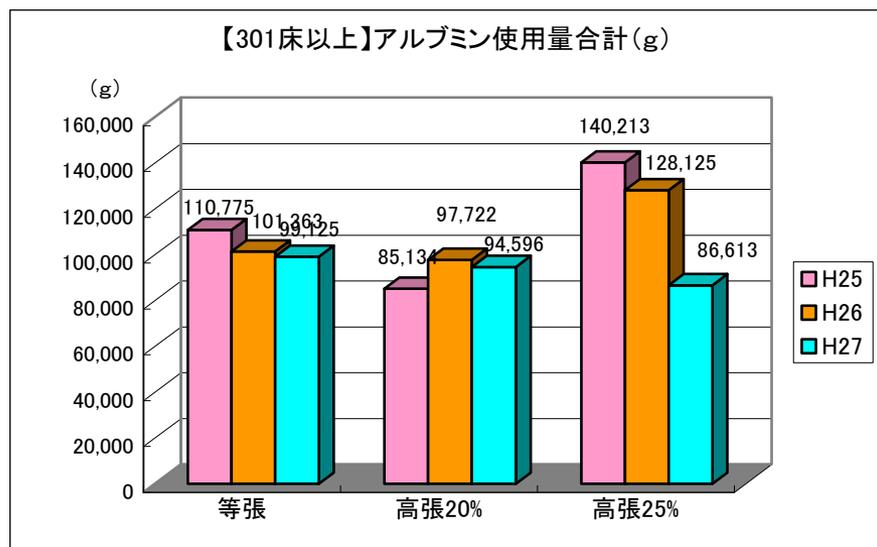
病床規模別の使用量(301床以上)

【各製剤別アルブミン使用量合計(g)】

	H25	H26	H27
等張	110,775	101,363	99,125
高張20%	85,134	97,722	94,596
高張25%	140,213	128,125	86,613

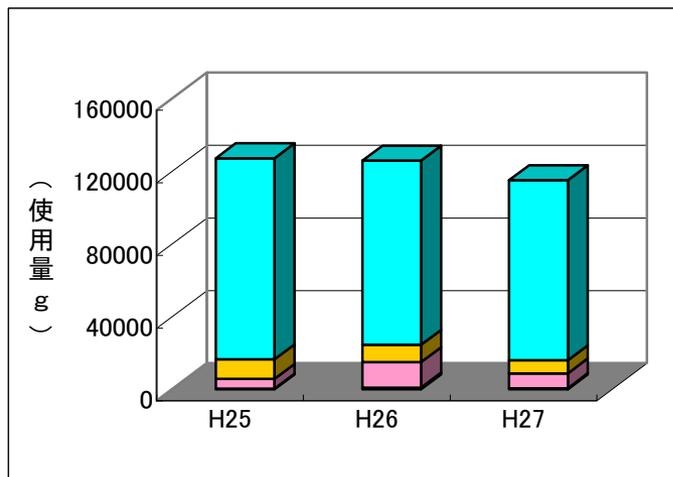
【各製剤別1施設あたりの平均使用量(g)】

	H25	H26	H27
等張	12,308	12,670	14,161
高張20%	14,189	16,287	15,766
高張25%	20,030	18,304	14,435



病床規模別の使用量の割合

等張アルブミン製剤(5%)



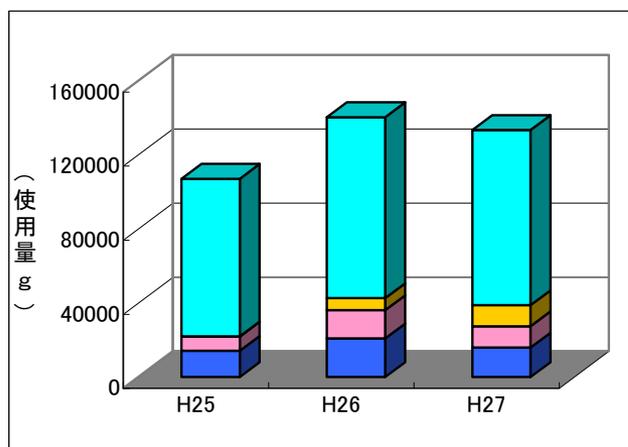
【200床以下の施設が占める割合】

等張製剤:7.6%

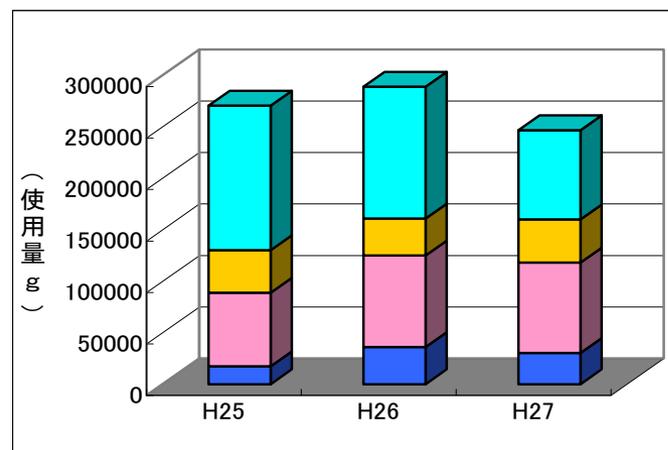
高張製剤(20%):20.6%

高張製剤(25%):47.9%

高張アルブミン製剤(20%)



高張アルブミン製剤(25%)



■ 100床以下

■ 101~200床

■ 201~300床

■ 301床以上

1 病床あたりの使用量の実際

等張アルブミン製剤病床あたりの使用量

順位	病床規模	1病床あたりの使用量(g)
1位	301床以上	67.75
2位	101～200床	28.21
3位	301床以上	20.91
4位	301床以上	20.52
5位	301床以上	19.07
6位	301床以上	17.31
7位	100床以下	14.33
8位	201～300床	11.27
9位	201～300床	8.54
10位	101～200床	8.33

使用している21施設の平均値: 19.37

高張アルブミン製剤病床あたりの使用量

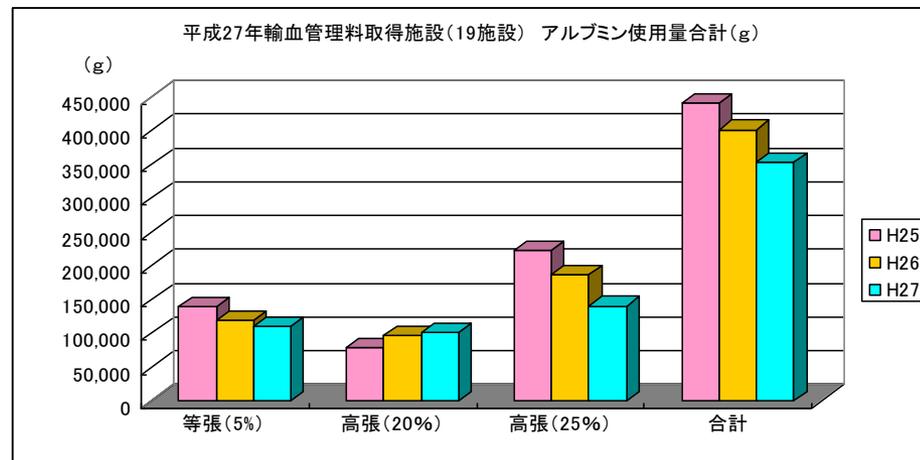
順位	病床規模	1病床あたりの使用量(g)
1位	100床以下	340.00
2位	100床以下	247.35
3位	100床以下	137.50
4位	100床以下	137.09
5位	101～200床	96.99
6位	101～200床	76.26
7位	101～200床	67.70
8位	101～200床	63.92
9位	301床以上	54.90
10位	100床以下	53.81

使用している82施設の平均値: 27.06

平成27年輸血管理料取得施設(19施設)状況

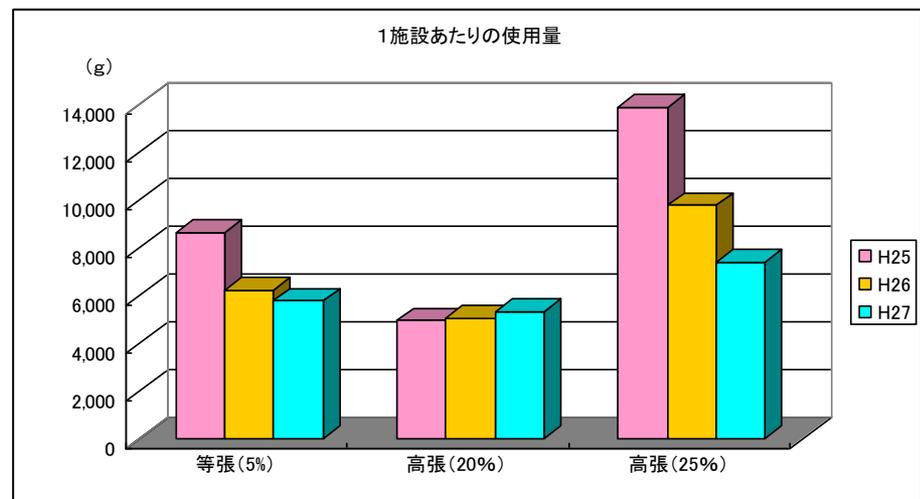
アルブミン使用量合計(g)

	H25	H26	H27	前年比(%)
等張(5%)	138,825	118,588	110,050	92.8%
高張(20%)	79,404	96,462	101,746	105.5%
高張(25%)	222,938	186,325	140,688	75.5%
合計	441,167	401,375	352,484	87.8%



1施設あたりのアルブミン使用量(g)

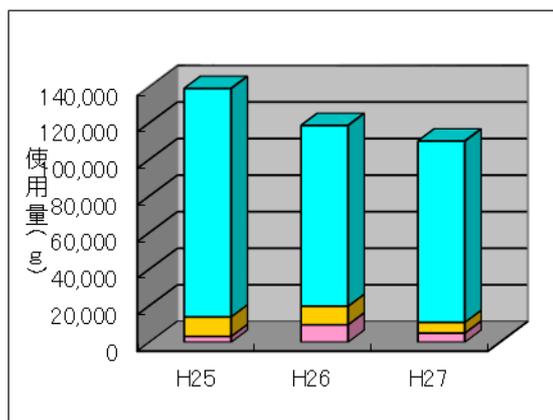
	H25	H26	H27	前年比(%)
等張(5%)	8,677	6,241	5,792	71.9%
高張(20%)	4,963	5,077	5,355	102.3%
高張(25%)	13,934	9,807	7,405	70.4%



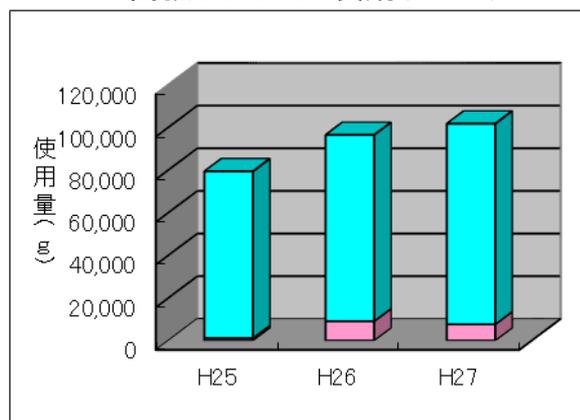
平成27年輸血管管理料取得施設

病床規模	5%アルブミン使用量(g)				20%アルブミン使用量(g)				25%アルブミン使用量(g)				アルブミン使用量(g)			
	H25	H26	H27	増減	H25	H26	H27	増減	H25	H26	H27	増減	H25	H26	H27	増減
100床以下 (0施設)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
101~200床 (5施設)	3,263	9,588	5,050	-4,538	1,220	9,100	7,670	-1,430	21,088	28,863	18,513	-10,350	25,570	47,550	31,233	-16,318
201~300床 (5施設)	10,650	10,175	5,875	-4,300	0	0	0	0	28,063	36,138	35,788	-350	38,713	46,313	41,663	-4,650
301床以上 (9施設)	124,913	98,825	99,125	300	78,184	87,362	94,076	6,714	173,788	121,325	86,388	-34,938	376,884	307,512	279,589	-27,924
合計	138,825	118,588	110,050	-8,538	79,404	96,462	101,746	5,284	222,938	186,325	140,688	-45,638	441,167	401,375	352,484	-48,891

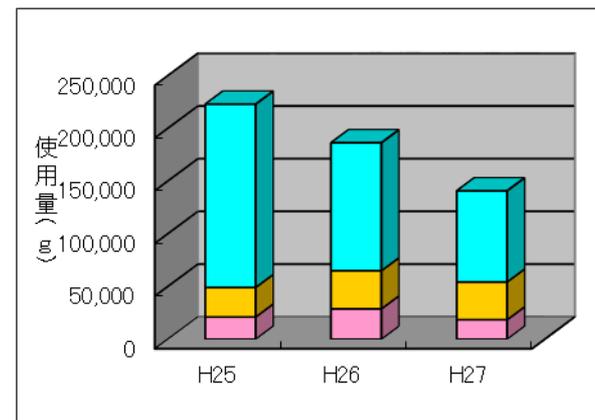
等張アルブミン製剤(5%)



高張アルブミン製剤(20%)



高張アルブミン製剤(25%)



100~200床
 201~300床
 301床以上

輸血管理料取得施設におけるアルブミン製剤使用量の比較①

※平成27年高張アルブミン製剤の病床あたりの使用量が多い順に表示

※ は病床あたり高張アルブミン使用量前年比増 は減

No.	医療機関名	病床規模	アルブミン(計) (g)			5%アルブミン (g)			20%アルブミン (g)			25%アルブミン (g)			高張 病床あたり (g)			輸血管理料			適正使用加算		
			H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
1	医療機関1	101-200床	16,863	16,625	10,863	0	0	0	0	0	6,000	12,288	16,625	4,863	09.71	148.44	96.9	II	II	I			
2	医療機関2	101-200床	23,750	16,988	18,700	3,263	4,750	5,050	0	0	0	8,800	12,238	13,650	49.16	68.37	76.26	II	II	II			
3	医療機関3	301床以上	211,452	104,579	105,726	85,325	60,163	58,400	56,114	44,416	47,326	0	0	0	65.10	51.53	54.90	I	I	I			
4	医療機関4	301床以上	77,700	66,513	43,088	9,225	15,175	12,188	0	0	0	68,475	51,338	30,900	115.28	86.43	52.02	II	II	II			
5	医療機関5	301床以上	21,175	19,775	19,663	1,113	0	1,513	0	0	0	16,075	19,775	18,150	45.93	56.50	51.86	II	II	II	○	○	
6	医療機関6	301床以上	31,038	20,314	24,750	3,875	5,875	6,300	0	13,376	18,450	27,163	1,063	0	74.62	39.67	50.69	II	II	II			
7	医療機関7	301床以上	44,470	24,583	22,235	4,350	6,413	6,525	13,300	18,170	15,710	0	0	0	42.90	58.61	50.68	II	II	II			
8	医療機関8	201-300床	17,813	14,313	13,950	6,813	5,563	2,863	0	0	0	11,000	8,750	11,088	43.31	34.45	43.65	II	II	II		○	
9	医療機関9	301床以上	20,305	17,625	15,428	4,063	1,300	1,938	0	0	2,940	19,163	16,325	10,550	54.75	46.64	38.54	II	II	II			
10	医療機関10	301床以上	52,513	39,750	35,125	16,138	9,900	12,263	0	0	0	36,375	29,850	22,863	56.57	46.42	35.56	II	II	II			

輸血管理料取得施設におけるアルブミン製剤使用量の比較②

※平成27年高張アルブミン製剤の病床あたりの使用量が多い順に表示

※ は病床あたり高張アルブミン使用量
前年比増 は減

No.	医療機関名	病床規模	アルブミン(計) (g)			5%アルブミン (g)			20%アルブミン (g)			25%アルブミン (g)			高張 病床あたり (g)			輸血管理料			適正使用加算		
			H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
11	医療機関11	201-300床	-	11,013	7,638	-	938	538	-	0	0	-	10,075	7,100	-	49.15	34.63	-	II	II	-		
12	医療機関12	201-300床	6,800	5,325	6,475	0	0	0	0	0	0	6,800	5,325	6,475	32.69	25.60	31.13			II		○	
13	医療機関13	201-300床	7,200	9,525	7,525	700	538	50	0	0	0	6,500	8,988	7,475	25.39	35.11	29.20		II	II			
14	医療機関14	301床以上	11,508	11,400	9,650	825	0	0	8,770	11,400	9,650	1,913	0	0	32.08	34.23	28.98	II	II	II		○	
15	医療機関15	201-300床	6,900	6,138	6,075	3,138	3,138	2,425	0	0	0	3,763	3,000	3,650	13.25	10.56	12.85	II	I	II			
16	医療機関16	301床以上	4,625	2,975	3,925	0	0	0	0	0	0	4,625	2,975	3,925	14.68	9.44	12.46	II	II	II	○	○	○
17	医療機関17	101-200床	1,220	780	950	0	0	0	1,220	780	950	0	0	0	11.73	7.50	9.13	II	II	II		○	
18	医療機関18	101-200床	-	0	720	-	0	0	-	1530	720	-	0	0	-	14.71	6.92	-	-		II		○
19	医療機関19	101-200床	-	11,628	0	-	4,838	0	-	6,790	0	-	0	0	-	35.18	0.00	-	-	II	II	-	

平成27年輸血管管理料取得施設の 赤血球廃棄率

病床数	赤血球製剤廃棄率(%)	
	管理料あり	管理料なし
100床以下 (0施設)	-	3.39
101～200床 (5施設)	6.2	1.99
201～300床 (5施設)	4.04	8.72
301床以上 (9施設)	1.56	1.42
合 計	3.43	3.41

輸血療法委員会の設置状況

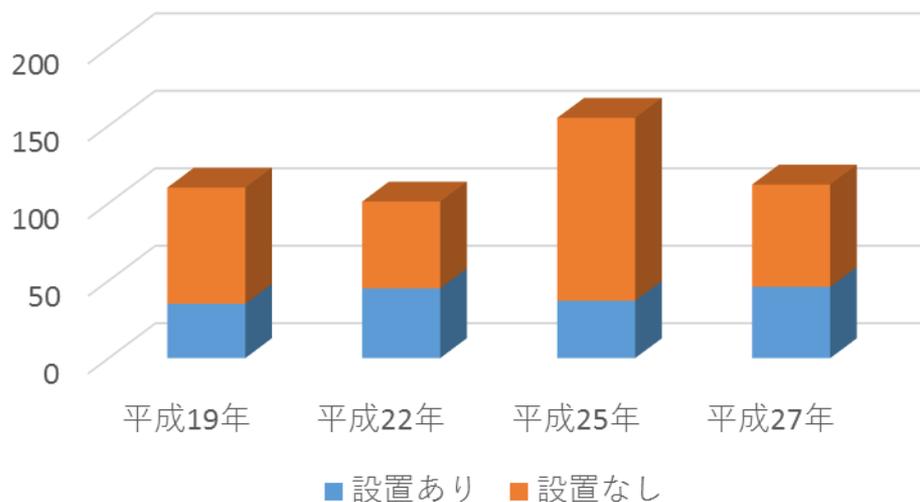
各医療機関の設置状況

	平成19年	平成22年	平成25年	平成27年
設置あり	35	45	37	46
設置なし	75	56	118	66
未回答	0	0	6	1
合計	110	101	161	113

年間の開催回数

	平成19年	平成22年	平成25年	平成27年
年1～2回	5	7	3	6
年3～5回	5	6	3	7
年6回以上	22	25	24	26
不定期	3	7		
未開催			7	7
合計	35	45	37	46

輸血療法委員会の設置状況

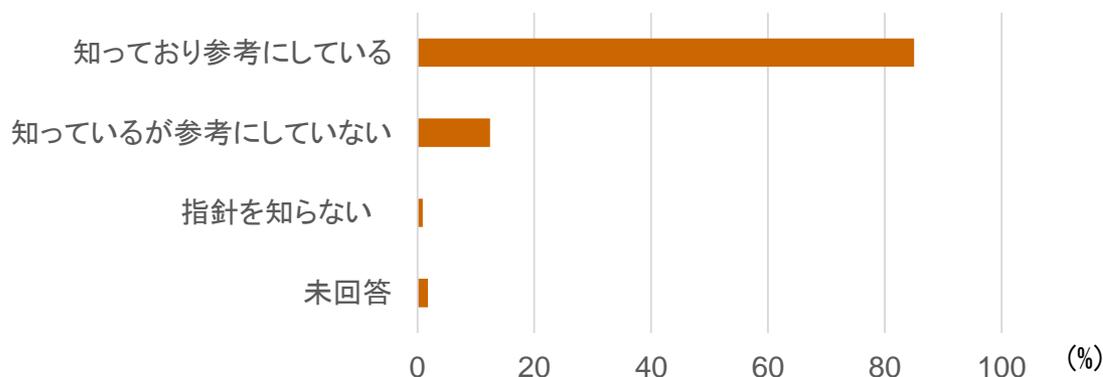


輸血用血液製剤の管理部門

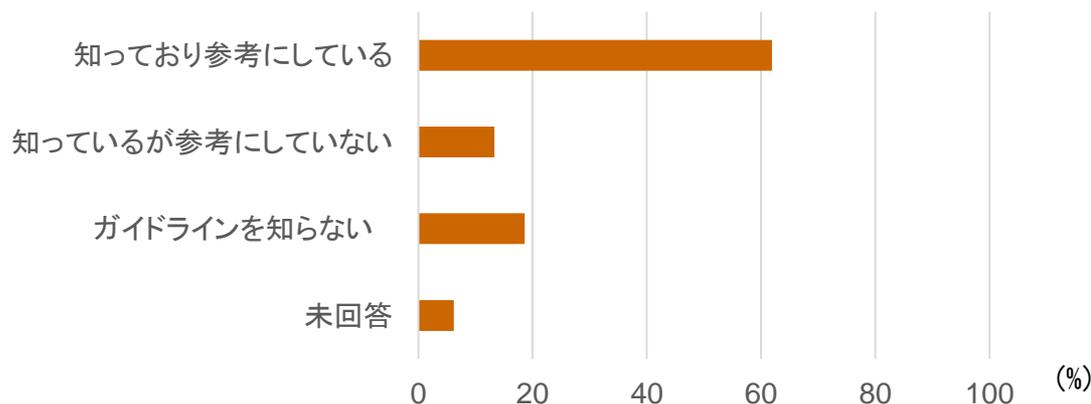
病床数	平成25年				
	輸血部	検査部	薬剤部	その他	合計
100床 以下	0	17	20	37	74
101～200床	2	22	10	1	35
201～300床	2	5	6	0	13
301床 以上	3	9	2	0	14
合 計	7	53	38	38	136

病床数	平成27年					
	検査部	薬剤部	看護部	事務	その他	合計
100床 以下	16	16	12	1	1	46
101～200床	20	16	2	0	1	39
201～300床	9	5	0	0	1	15
301床 以上	10	1	0	0	1	12
合 計	55	38	14	1	4	112

輸血を行う際に、厚生労働省の「輸血療法の実施に関する指針」および「血液製剤の使用指針」を参考にしていますか。



アルブミン製剤を使用する際に、一般社団法人輸血・細胞治療学会の「科学的根拠に基づいたアルブミン製剤の使用ガイドライン」(平成27年6月作成)を参考にしていますか。



長崎県 合同輸血療法委員会

検索

(長崎県福祉保健部薬務行政室ホームページ内)

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/iyakuhin/blood/128497.html>

血液製剤の使用適正化について(合同輸血療法委員会)

平成27年度輸血療法に係るアンケート実施結果

平成27年度に実施しました、平成26年の血液製剤の使用状況等調査にご協力いただきありがとうございました。ご回答いただきました128医療機関のデータを取りまとめたので、ご活用ください。

[平成26年血液製剤等使用状況アンケート結果\[Excelファイル/69KB\]](#)

また、一般社団法人輸血・細胞治療学会において「科学的根拠に基づいたアルブミン製剤の使用ガイドライン」が作成されていますので、アルブミン製剤適正使用の参考としていただきますようよろしくお願いいたします。[輸血・細胞治療学会公式ホームページ\(外部サイトに移動します\)](#)

アルブミン製剤の適正使用推進にご協力ください！

本県におけるアルブミン製剤の使用量が全国的にも非常に多いことから、それらの現状や使用指針を広く周知するため、長崎県合同輸血療法委員会でパンフレットを作成し、アルブミン製剤の使用適正化を呼びかけています。

各医療機関、また医療関係者の皆さまにおかれましては、趣旨をご理解のうえ、アルブミン製剤の適正使用の推進を図っていただきますようお願いいたします。

[パンフレット\(アルブミン製剤使用適正化\)\[PDFファイル/715KB\]](#)

[「血液製剤の使用指針」\(改定版\)H24.3月\[PDFファイル/1MB\]](#)

長崎県合同輸血療法委員会の活動について、 今後期待するもの(望むもの)がありますか

選択項目	回答数	割合
期待するものがある	56	49.6%
期待するものがない	52	46.0%
未回答	5	4.4%

	選択項目	回答数	割合
1	訪問による指導	9	8.0%
2	電話による相談窓口	26	23.0%
3	研修会・説明会	46	40.7%
4	メーリングリスト	10	8.8%
5	その他	6	5.3%

(その他の内訳)

- ・多施設で共用できる説明同意書の整備
- ・他医療機関と比較検討できるように資料の提供
- ・不明な点の質問に対する回答
- ・研修会、説明会が長崎まで行かないといけないので、諫早で開催して欲しい。
- ・在宅輸血療法実施に伴うもの
- ・学会認定看護師の医療機関横断的な活動

どのような内容の活動を期待されますか

	選択項目	回答数	割合
1	輸血の適応や血液製剤の選択	40	35.4%
2	輸血検査	21	18.6%
3	輸血実施手順(製剤の取扱いを含む)	29	25.7%
4	輸血副作用	31	27.4%
5	その他	6	5.3%

(その他の内訳)

- ・血液センターの方から①～④の内容の研修会をしていただいています
- ・療法委員会の管理者設置について、技師においては輸血検査の研修をお願いしたい。
- ・上記全般について開催されれば対象職種を受講させる
- ・療法委員会活動の促進、自己血輸血の適正な実施
- ・在宅輸血療法実施に伴う輸血製剤の管理について
- ・医師向け(特に整形外科医)の血液製剤の使用指針。とりあえずとか予防とかで輸血する医師が多い。

まとめ

1. 等張製剤（5%）の1施設あたりの使用量は**若干の減少**がみられた。
2. 高張製剤では、**25%製剤の1施設あたりの使用量は減少し、20%製剤の使用量増加**がみられた。
(合同輸血療法世話人会意見)
25%製剤の使用を止めて20%製剤への変更を行い、高張製剤の使用量を削減する対策がとられている医療機関が増えているのではないか。
3. 輸血管理料を取得している施設では、全体として等張製剤、高張製剤の使用量の**減少傾向**が見られる。一方で、血液製剤の廃棄率は未取得の施設と差はない。
4. 1病床あたりの使用量は、**等張製剤では301床以上**の医療機関が上位の多くを占める一方、**高張製剤では200床以下**の医療機関が上位の多くを占める。
5. 輸血療法委員会の設置施設数については、過去5年間と比較し、変化は見られない。
6. 輸血管理料取得施設の取得施設数の変化が見られていない。

今後の対応方針

1. 高張アルブミン製剤の使用量の減少傾向はみられるものの、全国的には依然として高く、**今後も継続してデータを蓄積していく必要がある。**
2. 他医療機関のアルブミン製剤等の使用量と比較検討できるよう、アンケート協力医療機関に対し**調査結果をフィードバック**する。
3. 当委員会の活動に関する意見の中で、着手できるものについては、対応を検討する。
4. **九州各県合同輸血療法委員会での情報も取り入れ**つつ、血液製剤の使用適正化に向け、取り組んでいく。



ご清聴ありがとうございました。



今後とも血液製剤及びアルブミン製剤の
更なる使用適正化に
ご理解とご協力をお願いいたします。